

2022 年度北里大学薬友会定期総会資料

【資料内容】

1. 開催の辞
2. 議長団の選出
3. 会長 挨拶
4. 議 案
 - 1) 2021 年度事業報告 P.1～5
 - 2) 2021 年度決算報告 P.6～8
 - 3) 2021 年度会計監査報告 P. 9
 - 4) 2022 年度事業計画案 P.10～13
 - 5) 2022 年度予算案 P.14～15
 - 6) 2022 年度薬友会役員・代議員等交代の件 P.16～19
5. その他
6. 閉会の辞

【添付資料】

北里大学薬友会規約 P.20～23

日 時：2022 年 5 月 21 日(土)オンライン総会
13:30～15:00
オンライン総会：会議システム Zoom 使用

・各報告に関するコメントは、黒枠内に記載致しました。

【議案1】2021年度北里大学薬友会事業報告

1. 同期会・懇親会の開催

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、開催は1件もなかった。

2. ホームカミングデイの開催

2022年3月20日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、例年実施していた同期会、懇親会、ホームカミングデイ、薬友会白金会は全て中止となった。

3. 会報の発行

| | | |
|------|-----------|---------------------|
| 第79号 | 2021年8月発行 | 部数：2,500(会費納入者のみ配布) |
| 第80号 | 2022年3月発行 | 部数：14,500(全会員に配布) |

4. 同期会への援助（通信費）

0件

5. 薬友会情報センターの運営

- ① 会員データの更新：随時更新
- ② DMラベルの打ち出し：1件

6. 生涯学習セミナー(薬学部主催・薬友会共催生涯学習セミナー)

2021年度はコロナ禍の影響により集合研修の代替方法として、地方在住会員の方にも生涯学習の機会を得る場にも成り得るZoomを利用したオンラインによるライブ配信及び開催後のオンデマンド配信を実施した(オンライン生涯学習セミナー)。

講演は新型コロナウイルスを大テーマとし、大村智記念研究所・北里大学・北里関連病院等で、このウイルスを研究・治験・治療を行っている先生方に講師をお願いし、下記4回のセミナーを開催した。

第1回：2021年5月22日 15:15～16:15

演題：「新型コロナウイルスとイベルメクチン」

講師：花木 秀明先生(北里大学大村智記念研究所 感染制御研究センター センター長)

ライブ配信受講者：81名

オンデマンド視聴者：308名

第2回：2021年9月11日(土)14:30～15:30

演題：「そうだったのか! 知って納得、新型コロナウイルス」

講師：片山 和彦先生(北里大学大村智記念研究所 ウイルス感染制御学 教授)

ライブ配信受講者：114名

オンデマンド視聴者：92名

第3回：2021年12月18日(土)14:30～15:30

演題：「新型コロナウイルス感染症 診療の実際」

講師：鈴木 雄介先生(北里大学北里研究所病院 呼吸器内科、北里大学薬学部 生体制御学 教授)

ライブ配信受講者：75名

オンデマンド視聴者：52名

第4回：2022年2月26日(土)14:30～15:30

演題：「新型コロナウイルスの後遺症に対する漢方の活用」

講師：小田口 浩先生(北里大学東洋医学総合研究所 所長)

ライブ配信受講者：92名

オンデマンド視聴者：52名

※ オンデマンド視聴者数は、2022年3月31日現在の数

7. ホームページの維持管理

- 1) 今年度も定期総会(オンライン総会)案内・報告、懇親会・オンライン生涯学習セミナー等の中止／案内等を適宜掲載し、会員各位への情報提供に務める行うと共に、ホームページの維持管理を実施した。
- 2) メニューや類似記事の統廃合、掲載時間が長く閲覧頻度が低いと思われる記事の削除等を行い、ホームページのスリム化を行った。
- 3) インターネットを介した受付返信メール「フォームメーカー」や Google フォーム、Zoom(Webinar)を導入し、生涯学習セミナー参加者等への案内/参加受付等に有効に活用し、効率的な事務局業務を実施した。
- 4) ベンダーに依頼しなくても薬友会事務局員の判断で情報掲載ができる「お知らせ」枠を活用し、生涯学習セミナー中止等、重要情報の迅速な伝達を実施している。

8. 薬友会奨学金制度の実施

2017年の定期総会にて承認頂いた本件は、薬友会が本学薬学部(法人・北里研究所)に寄付する形式とし、「北里大学薬友会給付奨学金規定」に則り、薬学部に給付候補者の募集・選定を依頼した。毎年、採択された学生(準会員)10名に各々10万円を給付してい

る。今年度は200万円の枠(2020年度に学部からの要望で臨時に増額給付した100万円と2021年度予算の100万円)で給付学生の選定を依頼したが、結果的には11名の給付に止まった。薬友会としては来年度もコロナ禍の影響が続き、経済的困窮学生が生じることが予想されるため当該予算の削減は行わず、薬学部には今年度余剰金と来年度予算の範囲で、来年度給付奨学金の学生選定・給付を行って頂くこととした。

9. 白金祭に対する援助

第42回北里大学白金祭(10月23～24日)は中止されたため、援助は行っていない。

10. 準会員との交流

白金祭中止のため実施せず。

準会員(学生)との交流として、毎年9月に白金祭実行委員会から白金祭に関する概要を聞き、薬友会理事がアドバイスする場を設けていたが、コロナ禍で白金祭が中止となり交流は実施しなかった。

11. 薬友会奨励賞授与

2022年3月23日(水)

受賞者：大石 幸樹、中島 茜、本間 愛梨、宮川 祐太

副賞：記念トロフィー + 名刺入れ

卒業祝賀会は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止されたため、4名の受賞者には賞状及び副賞を郵送した。

12. 中長期事業計画の検討

今年度はコロナ禍の影響で各班の活動は低調であったが、昨年度から継続となっていた以下の課題について検討を行った。

A 班(喜来理事)：薬友会関連・理事会関連

1) 会費納入に関する検討

会費納入方法及び会費納入の向上に向けて、年会費5年分・終身会費の納入について、その金額等を継続検討中。

2) 理事会運営の検討

Zoomによるオンライン会議が可能となったことから、理事会と常任理事会の役割分担を明確化し、常任理事会では緊急性が高く重要な課題や会の運営に柱となる課題について議論し、その結果を理事会に諮り検討することとした。

3) 薬友会への関心を喚起する方策

今年度も新型コロナウイルス感染の影響で、ホームカミングデイのような親睦会の開催はできなかった。

4) 薬友会組織運営に伴う内規等作成の検討

薬友会会員数が 15,000 名超となったこと、本年度から全学同窓会役員(副会長・監査)を薬友会から選出している等の背景があり、現行の副会長 2 名では薬友会業務遂行が難しくなることから、薬友会規約にある副会長 2 名を複数(4 名程度、女性会員の登用も考慮)に改定することを骨子とし、内規の見直し・整備することとした。また、他大学の現状を調査した結果、4 名以上配置しているところが殆どであったため、以下の改定案を今年度の薬友会総会にて審議頂くこととした。

(改定素案)

北里大学薬友会規約 第三章 役員

第 7 条 本会には次の役員を置く。

会長 1 名 副会長 2 名 ⇒ 2 名以上 (改定部分)

B 班(三浦班長)：研修・生涯教育関連

- 1) 2021 年度はオンラインセミナー開催について生涯学習委員会で検討を行い、合計 4 回のオンラインセミナーを開催した。(P.1、6.生涯学習セミナーの頁を参照)
- 2) オンラインセミナーを録画し、後日オンデマンド配信を行った。
- 3) 2022 年度の生涯学習セミナーの開催方法について検討し、引き続きオンライン開催で行うことになった。
- 4) 生涯学習セミナー「テーマ」の検討、薬友会費納入セミナー参加会員に対する特典の提供、セミナー参加費改定の検討については、生涯学習委員会の動向を注視して今後も検討していく。

C 班(長光班長／氏原班長)：会報・ホームページ関連

- 1) 今年度の会報発行は、8 月に第 79 号、2022 年 3 月に第 80 号と 2 回発行した。
- 2) 会員から投稿頂いた記事、大学内の動向、薬友会の活動報告等を会報に掲載し、内容の充実に努めた。
- 3) ホームページ(HP)は、生涯学習セミナーのオンライン化に伴い、開催案内、ライブ・オンデマンド申込みが容易にできるよう画面設定の工夫、リンク先の整理・簡素化、オンデマンド映像の掲載を実施した。
- 4) 同期会・同窓会開催のページを整理すると共に、会員管理システム利用申請の電子化、薬友会 HP への記事掲載依頼申請記事掲載を実施した。

D 班(池本班長)：同期会・懇親会関連

2021年度は、事業計画立案当初の2021年2月には新型コロナウイルス感染者数が減少していたこと、またワクチン接種が始まったことから、年度末(2022年3月20日)であればホームカミングデイ・同期会の開催可能性があると考え企画したが、変異ウイルスであるオミクロン株の発生により、2022年1月から爆発的に感染者が増加し、やむなく2年連続で中止とした。併せて2021年秋に予定した薬友会白金会も中止とした。

13. 理事会開催(Web会議)

- 第1回：2021年 4月16日(金)
- 第2回：2021年 7月 2日(金)
- 第3回：2021年 9月17日(金)
- 第4回：2021年11月12日(金)
- 第5回：2022年 1月21日(金)
- 第6回：2022年 3月11日(金)

14. 常任理事会開催

緊急常任理事会(Web会議)：2021年10月21日(木)

議案：パラリンピック金メダリスト杉浦佳子氏(27PT)講演会開催について

15. 杉浦佳子氏講演会の開催

開催日：2021年12月24日(金)17時～18時

会場：白金キャンパス大村記念ホール

演題：「北里大学学生のみなさんへ～生きる希望が湧く言葉」

開催方法：オンライン(ライブ・オンデマンド)参加及び会場参加

対象：薬学部卒業生、薬学部教職員・在校生・大学院生、大村研究所/学府教職員・大学院生、その他北里関係者及び一般の方

参加者：会場参加125名、ライブ参加54名 計179名

オンデマンド視聴者：29名(2022年3月31日現在)

16. 2021年度北里大学同窓会特別奨励賞(杉浦佳子氏)の推薦

成松会長を推薦人として2022年1月7日に推薦書提出、3月12日の全学同窓会理事会にて承認された。

17. その他

【議案 2】 2021 年度北里大学薬友会決算報告書

2021 年度収支報告書(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

〔収入の部〕 (単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増・減 (△) |
|---------------------------|------------|------------|------------|
| 前期繰越金 | 2,503,253 | 2,50,253 | 0 |
| 還元金 ¹⁾ | 7,263,000 | 7,263,000 | 0 |
| 年会費 ²⁾ | 2,800,000 | 3,128,491 | 328,491 |
| 薬学部生涯学習業務受託料 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 生涯学習セミナー受講料 ³⁾ | 1,500,000 | 0 | △1,500,000 |
| 懇親会参加者負担金 ⁴⁾ | 400,000 | 0 | △400,000 |
| 雑収入 ⁵⁾ | 10,000 | 483 | △9,517 |
| 合 計 | 17,476,253 | 15,895,227 | △1,581,026 |

1)還元金：2020 年度全学同窓会費納入者 286 名(2019 年度 282 名)

2)年会費：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 25 日薬友会費納入者 1,103 名(2020 年度 1,112 名)

3)生涯学習セミナー受講料：コロナ禍で集合研修はなく、オンラインセミナー(無料)で実施。

4)懇親会参加者負担金：コロナ禍のためホームカミングデイ・同期会は開催されなかった。

5)雑収入：預金利子

〔支出の部〕 (単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 増・減 (△) |
|-------------|------------|------------|------------|
| 総会開催費 | 1,200,000 | 392,512 | △807,488 |
| 懇親会費 | 1,300,000 | 0 | △1,300,000 |
| 事務局費 | 800,000 | 436,226 | △363,744 |
| 会議費 | 500,000 | 413,820 | △86,180 |
| 会報発行費 | 4,100,000 | 3,523,216 | △576,784 |
| 薬学部生涯学習業務費 | 4,500,000 | 4,331,683 | △168,317 |
| ホームページ維持管理費 | 600,000 | 386,430 | △213,570 |
| 人件費 | 2,400,000 | 2,400,000 | 0 |
| 慶弔費 | 100,000 | 17,160 | △82,840 |
| 同期会援助費 | 100,000 | 0 | △100,000 |
| 白金祭援助費 | 150,000 | 0 | △150,000 |
| 薬友会奨励賞費 | 150,000 | 134,420 | △15,580 |
| 奨学金制度費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| 予備費 | 576,253 | 414,928 | △161,325 |
| 小 計 | 17,476,253 | 13,450,395 | △4,025,858 |
| 〔次期繰越金〕 | | 2,444,832 | 2,444,832 |
| 合 計 | 17,476,253 | 15,895,227 | △1,581,026 |

〔財産目録〕

2022年3月31日現在

| 科 目 | 金 額 |
|----------------------------|------------|
| 〔定期預金〕 | |
| 定期預金(UFJ) | 17,550,000 |
| 定額預金(郵貯) | 7,000,214 |
| 小 計 | 24,550,214 |
| 〔普通預金〕 | |
| 普通預金(みずほ) ¹⁾ | 900,034 |
| 普通預金 I(UFJ) | 2,905,946 |
| 普通預金 II(UFJ) ²⁾ | 500,000 |
| 郵便貯金 | 252,297 |
| 小 計 | 4,558,277 |
| 振替口座 ³⁾ | 237,752 |
| 現 金 | 357,233 |
| 小 計 | 594,985 |
| 合 計 | 29,703,476 |

1) 次期繰越積立金(2015年度：50万円、2016年度：40万円)

2) 薬学部生涯学習業務用

3) 2022年度(2022/3/26～3/31)薬友会々費(郵貯84名分)

「収入の部」

- ・ 前期繰越金は、2020 年度からの繰越金である。
- ・ 還元金は、全学同窓会から前年度の全学同窓会費納入者数及び会報発行郵送料補助によって算定・給付されるが、全学同窓会の予算見直しの一環として、2021 年度から 3 年をかけて毎年 10 万円減額されることと重なったため、前年度より 20 万ほど減額となっている。
- ・ 年会費は、年会費納入者数が前年度とほぼ同数で、予算額より約 33 万の増額となっている。
- ・ 生涯学習セミナー受講料、懇親会参加者負担金は、今年度もコロナ禍の影響で、生涯学習セミナーは集合研修ができずオンライン(ライブ・オンデマンド配信)で 4 回開催したが、受講料なしで実施、懇親会も開催できなかったため、何れも入金はなかった。
- ・ 雑収入は、預金利子である。

全体としてコロナ禍の影響で、決算額は当初の予算設定額より約 160 万円の減額であった。

「支出の部」

今年度もコロナ禍の影響で、当初計画した定期総会(対面総会)、ホームカミングデイ・懇親会、白金祭、生涯学習セミナー(集合研修)等が中止されたため、それらに関連する科目の支出が減っている。

- ・ 総会開催費は、Zoom によるオンライン総会となったため、交通費・日当・資料印刷費等の支出がなくなり大幅に減少した。
- ・ 会議費は、今年度 6 回の理事会、1 回の常任理事会を実施したが、何れも Zoon によるリモート会議形式で行ったため、交通費分が減額となっている。
- ・ 会報発行費は、年 2 回の発行に伴う印刷・発送代、8 月号発行以降の年会費納入者への 8 月号発送費である。
- ・ 生涯学習業務費は、今年度は受講料なしでオンライン形式(ライブ・オンデマンド)にて 4 回開催したが、その経費は講師謝礼、Vimeo 利用料、関係者日当の他に、学部から委託されている生涯学習業務全般並びに薬友会業務(会員管理システム・年会費の管理、会報関連等)を依頼している派遣社員費用である。
- ・ ホームページ維持管理費は、業者への維持管理委託料、サーバー・フォームメーカー使用料である。
- ・ 薬友会奨励賞費は、大学から推薦を受けた卒業生 4 名に対する賞状・記念トロフィー・副賞(名刺入れ)の費用である。
- ・ 奨学金制度は、当初予算 100 万円の他に、今年度はコロナ禍による経済的困窮準会員(学生)の増加が予想され大学側の要望もあって 100 万円を追加したが、結果的には追加分の受給学生は発生しなかった。追加した 100 万円については、来年度もコロナ禍の影響により経済的に困窮する準会員が想定されることから次年度当該奨学金給付財源の一部として学部予算に計上して頂くこととした。
- ・ 予備費は、薬学部から依頼があった第 7 回日本薬学教育学会(2022/8/20~21)の広告料と、昨年 12/24 に開催した本学部出身パラリンピック金メダリスト杉浦桂子氏講演会関連費用である。

全体として、「収入の部」は 15,895,227 円、「支出の部」は 13,450,395 円で、次期繰越金は 2,444,832 円となった

【議案 3】 2021 年度北里大学薬友会監査報告書

2021 年度北里大学薬友会決算報告書を監査した結果、その正確かつ妥当なることを認める。

2022 年 4 月 8 日

北里大学 薬友会 監 事

青井 廣志



沼崎 洋



【議案 4】 2022 年度北里大学薬友会事業計画（案）

1. 懇親会関連の開催・援助

今年度も[卒業生の出会いの場の創出]をテーマに掲げ、同期会、研究室同窓会、クラブ活動の OB/OG 会の開催を積極的に呼び掛け援助していく。また、地方での同窓会活動について引続きリサーチし、それらの地域薬友会支部化を働き掛け・援助する。

2. ホームカミングデイ(HCD)・同期会の開催

北里大学薬友会規約により、本会は会員相互の親睦を図ることを目的とし、またその目的達成のために会員相互の交流及び親睦を掲げている。

2年連続で中止となった HCD・同期会は、まさに本薬学部の理解者・支援者である会員(卒業生)の旧交を温める場として重要なイベントであり、飲食を伴う懇親会も必要と考え、新型コロナウイルスの感染状況によるが対面開催を目指すこととした。

なお、対面による HCD が実施できない場合、オンラインによる HCD(全会員対象)の実施を計画することとし、2022 年秋には対面開催かオンライン開催かを決め会員に周知する。併せて、「薬友会白金会」懇親会の対面開催(2022 年秋)を目指す。

【第 4 回ホームカミングデイ(HCD)概要】

今年(2022 年)度は昨年度の計画案を再吟味して、以下のように企画・実施する。

1. 対面開催の場合

開催日程：2023 年 3 月下旬 イベント 14 時～16 時、 同期会 16 時～18 時

対象者：本学部卒後 10 年(平成 24 年)、20 年(平成 14 年)、30 年(平成 4 年)、

40 年(昭和 57 年)、50 年(昭和 47 年)3 月卒業の会員及びご家族の方

会場：白金キャンパス 大村記念ホール・アリーナ(体育館)・学生食堂 他

イベント(計画中)：オープンラボ、薬学部の現状報告、北里柴三郎に関する講演会 他

懇親会：卒後各年度同期会を体育館で同時開催(人数多数の場合は学生食堂も利用)

広報活動：薬友会報(No.81、82)、薬友会ホームページ掲載、対象者に案内ハガキ送付、

各年代のキーパーソン(代議員等)を選出し周知徹底を図る

経費：薬友会予算、薬学部負担金、懇親会参加者負担金にて実施

2. オンライン開催の場合

開催日程：2023 年 3 月下旬 イベント 14 時～16 時

対象者：薬友会全会員

開催形態：オンラインライブ配信

イベント(計画中)：小林理事長挨拶、島袋学長挨拶、岡田薬学部長挨拶、特別講演、

現教授・元教授の先生方からのメッセージ(事前収録・視聴選択可能)、
学内オンラインキャンパスツアー

広報活動：薬友会報(No.81、82)、薬友会ホームページ掲載

経 費：薬友会予算、薬学部負担金

3. 会報の発行

① 第 81 号 2022 年 8 月 部数： 2,500 部(会費納入者にのみ送付)

② 第 82 号 2023 年 3 月 部数： 14,500 部(全会員に送付)

(第 63 号(2013 年 3 月 発行)以降の会報は薬友会ホームページに掲載中)

4. 同期会への援助

通信費(切手・はがき代)・会場設定等の援助、地方会員の同窓会支部・同期会の開催支援

5. 薬友会情報センターの運営

① 会員データのメンテナンス(住所、姓名の変更等)

① DMラベルの打ち出し

6. 生涯学習セミナーの実施(薬学部主催・薬友会共催生涯学習セミナー)

開催形態：オンラインセミナー(Vimeo によるライブ配信・オンデマンド配信)

受講料：なし(認定単位付与なし)

演題・講師：未定(決定次第、薬友会報、薬学部・薬友会フォームページ、LINE 等で通知)

第 1 回：2022 年 6 月 4 日(土) 14:30～15:30

第 2 回：2022 年 7 月 9 日(土) 14:30～15:30

第 3 回：2022 年 9 月 3 日(土) 14:30～15:30

第 4 回：2022 年 10 月 15 日(土) 14:30～15:30

第 5 回：2023 年 1 月 21 日(土) 14:30～15:30

第 6 回：2023 年 3 月 4 日(土) 14:30～15:30

新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため、3 月開催の薬学部生涯学習委員会で今年度も引き続き集合研修は行わず、代替方法として Vimeo を利用したオンラインによるライブ配信及び開催後のオンデマンド配信を実施することが決定した(オンライン生涯学習セミナー)。なお、開催形態・日時の変更、演題・演者については、決定の都度、薬友会報、薬友会・薬学部ホームページ、薬友会 LINE 等で通知することとなった。

7. ホームページの維持管理

定期総会、懇親会、生涯学習セミナー等の案内・受付・報告や既刊薬友会報、各種行事の写真等を適宜掲載し、会員への情報提供を行う。また、生涯学習セミナー等の講演動画をライブ・オンデマンド配信し、収録した講演動画のライブラリー構築、会員管理システム申請書のデジタル化や閲覧・検索しやすいホームページの改変・スリム化等を検討し、併せてホームページの維持管理に務める。

8. 薬友会奨学金制度の実施

2018年から実施された奨学金制度について、引続き実施する。

9. 白金祭に対する援助

第43回北里大学白金祭

日 時：2022年10月22日(土)～23日(日)

場 所：北里大学白金キャンパス

10. 準会員との交流

2022年7月及び9月

11. 薬友会奨励賞授与

2022年度北里大学薬学部卒業祝賀会(2023年3月21日(火)予定)にて授与。

12. 中長期事業計画の検討

昨年度の中長期事業計画課題は、コロナ禍の影響で十分な活動ができなかったため検討すべき課題が残っており、今年度も引続き以下の課題について継続検討することとした。

A 班(喜来班長)：薬友会組織・理事会関連

1) 薬友会会費納入に関する検討

来年度の総会で審議頂けるよう、年会費5年分及び終身会費導入について引続き検討する。また、会費を銀行からネット決済により直接振り込めるよう、納入方法について検討する。

2) 薬友会理事会運営に関する検討

新型コロナウイルス感染が収束した場合の運営方法等について検討する。

3) 薬友会への関心を喚起する方策の検討

親睦会、ホームページへの関心喚起、景品提供等について検討する。

- 4) 薬友会組織運営に伴う規約・内規等の見直し
必要に応じて、規約改定等について検討する。

B班(三浦班長)：研修・生涯教育関連

- 1) オンラインセミナー開催(6/4、7/9、9/3、10/15、2023年1/21、3/4開催予定)
- 2) 集合研修、ハイブリッド研修(集合研修とオンライン研修同時開催)の開催について検討
- 3) 生涯学習セミナー「テーマ」の検討
- 4) 薬友会費納入会員に対する特典提供の検討
- 5) セミナー参加費改定の検討

C班(長光班長)：会報・ホームページ関連

- 1) 薬友会報の発行及び内容の充実化
- 2) 生涯学習セミナー等の講演を収録した動画ライブラリーの構築
- 3) ホームページの新規システムの導入、閲覧・検索しやすいシステムの構築

D班(池本班長)：同期会・懇親会関連

- 1) 第4回ホームカミングデイの開催(2023年3月下旬)
- 2) 薬学部・薬友会共同主催による同期会の開催(2022年3月下旬)
対象者：卒後10年(平成24年)、20年(平成14年)、30年(平成4年)、40年(昭和57年)、50年(昭和47年)3月卒業の会員及びご家族
注) 対面開催ができない場合は、オンライン開催(全会員対象)で実施
- 3) 「薬友会白金会」懇親会の対面開催(2023年秋)
※ 1)及び2)の詳細はP.10を参照のこと。

13. その他

【議案 5】 2022 年度北里大学薬友会予算（案）

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

〔収入の部〕

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 摘 要 |
|--------------|------------|---------------------------|
| 前期繰越金 | 2,444,832 | |
| 還元金 | 7,036,000 | 2021 年度全学同窓会費納入者 273 名 |
| 年会費 | 2,800,000 | 参考：2021 年度薬友会費納入者 1,103 名 |
| 薬学部生涯学習業務受託料 | 3,000,000 | |
| 懇親会参加者負担金 | 200,000 | 卒後 10・20・30・40・50 年目同期会 等 |
| 雑収入 | 10,000 | 預金利子、DM ラベル代 |
| 合 計 | 15,490,832 | |

〔支出の部〕

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 摘 要 |
|-------------|------------|---------------------------------------|
| 総会開催費 | 450,000 | 2022 年 5 月 21 日(土)13:30～ |
| 懇親会費 | 450,000 | 卒後 10・20・30・40・50 年目同期会 等 |
| 事務局費 | 600,000 | |
| 会議費 | 500,000 | 理事会・常任理事会、事業計画活動会議等 |
| 会報発行費 | 4,100,000 | 第 81 号(2022 年 8 月)、第 82 号(2023 年 3 月) |
| 薬学部生涯学習業務費 | 4,500,000 | 生涯学習セミナー運営費用 |
| ホームページ維持管理費 | 500,000 | システム構築、フォームメーカー使用料、メンテナンス費 |
| 人件費 | 2,400,000 | |
| 慶弔費 | 50,000 | |
| 同期会援助費 | 100,000 | 通信費補助、地方支部設立・同期会援助 |
| 白金祭援助費 | 150,000 | 白金祭(2022 年 10 月 22～23 日予定) |
| 薬友会奨励賞費 | 150,000 | 卒業祝賀会にて授与(2023 年 3 月 21 日予定) |
| 奨学金制度費 | 1,000,000 | 在校生への薬友会給付奨学金 |
| 予備費 | 540,832 | |
| 合 計 | 15,490,832 | |

【収入の部】

- ・前期繰越金は、前年(2021年)度からの繰越金である。
- ・還元金は、全学同窓会からの補助で前年度の全学同窓会費納入者数及び会報発行郵送料補助で算定・給付される。2021年度の全学同窓会費納入者は273名と前年度(286名)より少なく、昨年度(726万円)より約23万円の減となった。
- ・懇親会参加者負担金は、卒後10/20/30/40/50年目同期会(2023年3月下旬)参加者を200名(1,000円/名)として設定した。

2022年度予算案の収入は154490,832円となり、この財源のもとに事業活動を行うこととなる。

【支出の部】

新型コロナウイルス感染収束の目途が立たず、各科目の予算額設定には昨年度の実績及び今年度事業計画案等を勘案して計上した。

- ・総会開催費は、昨年に引続き今年度もオンライン総会の形態で開催となったが、その費用として総会案内・報告書の発送費、オンライン会議出席者への謝礼/日当としてのQUOカード購入費等を勘案し設定した。
- ・懇親会費は、今年度のホームカミングデイ・同期会、薬友会白金会の実施内容が昨年度とほぼ同一なため、昨年と同額に設定した。
- ・会報発行費は、年2回(8月、3月)発行の予定で、昨年と同額に設定した。
- ・生涯学習業務費は、昨年度と同様に受講料なしでオンライン形式(ライブ・オンデマンド配信)にて年6回の開催が生涯学習委員会で決定しており、昨年度(オンライン形式で年4回開催)の実績を参考に、今年度計画のセミナー運営費と派遣社員費用を算出し設定した。
- ・奨学金制度費は、今年度もコロナ禍の影響等により経済的に困窮する学生が想定されることから、前年度までの余剰残額と今年度の予算(100万円)を合算し、今年度薬友会奨学給付金として学部予算に計上して頂くこととした。

【議案 6】 2022 年度北里大学全学同窓会及び薬友会役員

【全学同窓会】 敬称略

副会長(1) 池本 尚(19PT)

監 事(1) 根岸 春夫(6PT)

理 事(4) 成松 由紹(3PT)、厚田幸一郎(11PT)、 岡田 年以(14PP)、 喜来 望(36PP)

代 議 員 鹿兒島正豊(1PP)、西山 道久(2PT)、 二村 典行(6PT)、 藤井 則明(9PT)、

(17) 吉山 友二(12PT)、堀口 雅巳(12PT)、 笹嶋 政昭(14PP)、 相良 眞一(14PT)、

松田 佳和(15PP)、森田 豊(15PT)、 鈴木 秀人(16PP)、 蒲谷 浩司(17PP)、

中森 俊宏(18PT)、氏原 淳(19PP)、 関根 正恵(23PP)、 長光 亨(24PT)、

長尾 剛司(26PT)

北里研究所評議員(1) 成松 由紹(3PT)

【薬友会】 敬称略 (26名)

会 長(1) 成松 由紹(3PT)

副会長(2) 岡田 年以(14PP)、関根 正恵(23PP)

理 事 富野 絹雄(1PT)、伊藤 毅(2PT)、 根岸 春夫(6PT)、 厚田幸一郎(11PT)、

(21) 吉山 友二(12PT)、堀口 雅巳(12PT)、 相良 眞一(14PT)、 森田 豊(15PT)、

小平 久正(16PP)、氏原 淳(19PP)、 有田 悦子(19PP)、 池本 尚(19PT)、

澤井 敏樹(21PT)、三浦 輝久(22P)、 長光 亨(24PT)、 長尾 剛司(26PT)、

川上 美好(29PP)、山本 大介(33PT)、 関根麻理子(34PP)、 喜来 望(36PP)、

春日井公美(37PP)

監 事(2) 青井 廣志(5PP)、沼崎 洋(9PT)

顧 問(4) 鹿兒島 正豊(1PP)、松山 重雄(1PP)、針谷 義弘(1PP)、水谷 努(3PT)

新代議員の選出

新代議員：2022年3月卒業(敬称略)

54PP(薬学科)

伊藤 慶紀(いとう よしき)
島崎 泰佑(しまざき たいすけ)
田中 亮吾(たなか りょうご)
本間 愛梨(ほんま あいり)

13PL(生命創薬科学科)

鈴木 大貴(すずき だいき)

2022年度北里大学薬友会代議員一覧

(薬学科(PP) 敬称略)

| | |
|--------------------|------------------|
| 代議員 大谷元光・矢澤勝彦(1PP) | 河野光男・伊藤芳之(2PP) |
| 堂東邦宏・砂金信義(3PP) | 西川 均・高橋 進(4PP) |
| 高橋 豊・後村 猛(5PP) | 斉藤太郎・洞ヶ瀬栄子(6PP) |
| 木村 明・江守利博(7PP) | 久保木輝雄・大西龍也(8PP) |
| 栢森裕三・清水 澄(9PP) | 武部雅人・南田東彦(10PP) |
| 久米 誠・平野由紀子(11PP) | 秋山 博・宮下精一郎(12PP) |
| 清原寛章・深町伸子(13PP) | 田端大祐・笹嶋政昭(14PP) |
| 松田佳和・丸山 剛(15PP) | 鈴木秀人・中村匡宏(16PP) |
| 蒲谷浩司・田野良夫(17PP) | 上岡健人・波多野紀子(18PP) |
| 町田 充・藤極範子(19PP) | 田中久美子・田中 陽(20PP) |
| 遠藤政彦・杉浦久仁子(21PP) | 佐藤幸子・晴被直子(22PP) |
| 井上朋子・高橋良絵(23PP) | 井上智之・奈良場純子(24PP) |
| 宮沢伸介・丸山純一(25PP) | 武田典子・津端由佳里(26PP) |
| 角 大悟・寒河江珠代(27PP) | 古川尊久・山崎由紀子(28PP) |
| 生駒 徹・茂出木耕一(29PP) | 鈴木邦生・吉田康一郎(30PP) |
| 橋口宏司・芳村峰花(31PP) | 大野典子・清水目 梢(32PP) |
| 高橋 亮・谷山和弘(33PP) | 八木晃子・松澤弘志(34PP) |
| 小林彦登・萬羽薫美子(35PP) | 早崎真弘・佐野美紗子(36PP) |
| 鈴木利幸・木村夏樹(37PP) | 有川槿葉・高橋光夫(38PP) |
| 中野貴之・柚木麻姫(39PP) | 松本真澄・井本千尋(40PP) |
| 関谷路子・餅田智行(41PP) | 安澤直幸・山本啓介(42PP) |
| 大谷和真・山崎 柚(44PP) | 坪田留央依・細井智弘(44PP) |
| 相原未希・佐川智則(45PP) | 橋本健士郎・船渡聖太(45PP) |
| 森野亜希・岸川 瞳(46PP) | 西垣哲太・山田翔太(46PP) |
| 飯野舞子・小玉智香(47PP) | 豊間恵里子・山名里穂(47PP) |
| 梅原ありさ・川村舞雪(48PP) | 高橋祐里香・星安里紗(48PP) |
| 柿崎佑斗・佐々木貴央(49PP) | 馬場 優樹・李 大葵(49PP) |
| 青山亮太・梅本沙英(50PP) | 時澤秀明・矢野真輝(50PP) |
| 伊木祥子・坂根宏明(51PP) | 比佐祐介・村山晃大(51PP) |
| 伊藤大智・角倉弘太(52PP) | 永野風鳥霞・舩越美緒(52PP) |
| 石原朋実・櫛田優花(53PP) | 西方大貴・山崎千佳(53PP) |
| 伊藤慶紀・島崎泰佑(54PP) | 田中亮吾・本間愛梨(54PP) |

(_____: 新任)

(製薬学科(PT)、薬科学科・生命創薬科学科(PL) 敬称略)

| | |
|-------------------|------------------|
| 毛利隆明・大沢 彰(1PT) | 西山道久・坂本康夫(2PT) |
| 武田収功・吉澤芳夫(3PT) | 倉澤嘉久・村瀬義之(4PT) |
| 宮田義久・岩崎裕二(5PT) | 二村典行・高橋 勇(6PT) |
| 池田 了・三田正之(7PT) | 入江英治・青野雄三(8PT) |
| 藤井 則明・高柳 博(9PT) | 坂田 修・小堺ひとみ(10PT) |
| 松原 肇・加藤崇人(11PT) | 源川良一・星野隆一(12PT) |
| 大河原均・岩瀬一彦(13PT) | 岡村信吾・塙 真也(14PT) |
| 新井 隆・松本啓一(15PT) | 阿部章夫・鈴木智美(16PT) |
| 小瀧裕道・関根澄江(17PT) | 中森俊宏・八谷恵美子(18PT) |
| 今井庸介・長友 恵(19PT) | 伊藤 靖・久保田理恵(20PT) |
| 倉茂 了・小林敏明(21PT) | 井手上圭一・片平 優(22PT) |
| 杉木 伸・奈良場博昭(23PT) | 遅澤 篤・阪柳正隆(24PT) |
| 渡邊洋子・古籟崇紀(25PT) | 池田和子・金子正美(26PT) |
| 中島啓行・市川奈緒子(27PT) | 柳原壮一郎・大島崇弘(28PT) |
| 門脇正昌・重松朝子(29PT) | 浅沼 聡・本郷守正(30PT) |
| 亀井梨生・八木原浩子(31PT) | 岸本亜希子・高石 勝(32PT) |
| 三浦健志・宮本幸恵(33PT) | 吉田泰宏・平井景子(34PT) |
| 土田健二・陳 妍希(35PT) | 福田岳夫・丸本かおり(36PT) |
| 勅使川原智史・吉野真通(37PT) | 黒田大祐・古関義隆(38PT) |
| 齊田 瞬・大畠健二(39PT) | 松永麻理・山本善也(40PT) |
| 和田絢子・駒田沙織(41PT) | |

| | |
|-------------------|-------------|
| 佐藤大史(1PL) | 中嶋 龍(2PL) |
| 牧谷佳苗(3PL) | 伊達 茜(4PL) |
| 峯田浩司(5PL) | 小山朋子(6PL) |
| 池田隼人(7PL) | 小此木闘也(8PL) |
| 大瀬尚希(9PL) | 植松まりな(10PL) |
| 中原 茜(11PL) | 工藤 春伸(12PL) |
| <u>鈴木大貴(13PL)</u> | |

(~~~~~ : 新任)

北里大学薬友会規約

第一章 総 則

第1条(名称) 本会は北里大学同窓会薬学部会であり、北里大学薬友会と称する。

第2条(目的) 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて文化・教養の向上に資し、以って北里大学薬学部の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会はその目的を達成するために次の事業を行なう。

1. 会員相互の交流および親睦。
2. 会報の発行。
3. 講演会・講習会等の開催。
4. 準会員への支援。
5. その他、必要と認められる事業。

第4条 本会は事務局を東京都港区白金5丁目9番1号北里大学薬学部内に置く。

第二章 会 員

第5条 本会は次の会員で組織する。

1. 正会員 A会員 北里大学薬学部卒業生。
 B会員 入会を希望する北里大学大学院薬学研究科修了者。
2. 準会員 北里大学薬学部学生。
3. 特別会員 (イ) 北里大学薬学部現教職員。
 (ロ) 理事会で推薦した北里大学薬学部旧教職員。
4. 名誉会員 本会および学部の発展に寄与した者で理事会で推薦し、総会で承認された者。
5. 賛助会員 本会の主旨に賛成し理事会で承認した者。

第6条 本会は名誉会長および顧問を置くことができる。

- 2 名誉会長および顧問は、理事会で推薦し、総会で承認する。

第三章 役員

第7条 本会には次の役員を置く。

会長 1名 副会長 2名 ⇒ 2名以上
理事 30名以内(常任理事若干名を含む)
監事 2名

第8条 会長は本会を代表し、会務を総べ理事会の議長となる。

- 2 副会長は会長を助け、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は理事会を組織し会の運営にあたり、常任理事は常任理事会を組織して事業の執行にあたる。
- 4 監事は会計および事業の監査を行なう。

第9条 役員を選出は次の方法による。

1. 役員は正会員より選出する。
2. 会長・副会長は理事会で推薦し総会で選任する。
3. 理事は正会員の推薦による者、ならびに理事会で推薦した者を総会で選任する。
4. 常任理事は理事会で互選する。
5. 監事は総会で選任する。

第10条 役員任期は3年とし再任することができる。

第11条 本会に職員を置くことができる。

第四章 会計

第12条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第13条 正会員および賛助会員は会費を納めるものとする。その金額および納入方法については別に定める。

第五章 会議

第14条 会議は定期総会・臨時総会・理事会および常任理事会とする。

- 2 定期総会は毎年5月中に開催し、次の事項を審議決定する。
 1. 役員を選任。
 2. 前年度の事業報告。
 3. 前年度の収支決算の承認。
 4. 当年度の事業計画。
 5. 当年度の予算。
 6. その他。
- 3 臨時総会と理事会、常任理事会は必要に応じて会長が招集する。
但し、役員または代議員の3分の1以上から要求があった場合は、会長は速やかに臨時総会を招集しなければならない。

第15条 総会の構成および運営は次の如くとする。

1. 総会は役員および代議員を以って構成する。
但し、会員は出席して意見を述べることができる。
2. 代議員は各科各期の正会員の人数を考慮して人数を理事会で決定し、各科各期で推薦し、総会で選任する。代議員の任期は3年とする。
3. 総会の開催は役員および代議員の3分の1以上の出席を必要とする。
4. 総会の議長団は構成員より選出する。
5. 総会の議決は出席役員および代議員の過半数による。
但し、規約の改正は別章に定められた方法によって行なわれる。
6. 役員および代議員が総会に出席できないときは同科、同期所属会員に代理出席を委任するか、議長に白紙委任することができる。
7. 特に緊急を要するときは役員および代議員の書面審議を以って総会に代えることができる。

第16条 理事会は会長・副会長・理事・監事を以って構成し、常任理事会は会長・副会長・常任理事を以って構成する。

- 2 理事会および常任理事会の開催はその構成員の3分の1以上の出席を必要とする。
- 3 理事会に出席できない理事は他の理事にその権限を委任することができる。
- 4 理事会および常任理事会の議決は出席者の過半数による。

第17条 理事会は次の事項を決定する。

1. 総会の議案に関する事項。
2. 本会の運営上必要な細則制定に関する事項。
3. その他会務運営上必要な事項。

第 18 条 常任理事会は会務執行上必要な事項につき議決する。

第六章 支 部

第 19 条 本会は理事会の議決を経て支部を置くことができる。

第七章 雑 則

第 20 条 本会には選挙管理委員会を置くことができる。

第八章 改 正

第 21 条 規約の改正は理事会の過半数の賛成を得てこれを発議し、総会の 3 分の 2 以上の賛成を以ってなされる。

附 則 本規約は昭和 40 年 1 月 1 日より施行する。

昭和 46 年 4 月 1 日改正

昭和 55 年 5 月 20 日改正

昭和 55 年 10 月 26 日改正

昭和 60 年 12 月 4 日改正

平成 24 年 5 月 20 日改正

2022 年 5 月 21 日改正